

くすのき



西合志第一小学校
学校だより 第4号
文責 校長 西村羊治
令和6年4月16日

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

「校訓」・「学校教育目標」を胸に！

本校の校訓は「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」です。すばらしい校訓だと思います。このふるさとは合生地区です。自然豊かで田畑が多く生坪には古墳があり泗水方面を高台から広く眺めることができます。また、学校の南門からまっすぐ行ったところに夫婦石があり、昔話にもなっています。さらに、辻久保には新築の家が多く見られるようになってきました。このふるさとを愛する子ども達が、大人になったときに合生のことを思い出し、ふるさとを愛し続けるイメージが浮かびます。



1年生給食準備 支え合い・学び合い

学校教育目標は「夢を持ち、学び合い・支え合う児童の育成」です。本校は、児童数88名の小規模校です。学年一クラスで毎年クラス替えがありません。6年間同じメンバーで同じ教室で過ごすこととなります。そこで、22名のクラスの仲間や8名のクラスの仲間とちょうど良い距離感で、より良い人間関係を作っていくことが必要になります。「相手の立場に立っての言動」を、と言葉では簡単に表現できますが、生きている人間関係です。生い立ちも違えば、考え方や価値観も違います。意見が食い違ったり、衝突したりすることもあります。ですが、同じ教室で過ごしていくことは避けられません。ですから、子ども達同士で「学び合い・支え合う」努力をすることが必要になってきます。周りの人の良いところを見つけ、自分自身の反省点を振り返り、誰もが自分自身を律していくことが必要不可欠です。



運動場のライン引き 職員も支え合い

大人社会では、会社などの組織に所属すると、考え方が違ったり価値観が違ったりする人とチームを組み、一緒に仕事をしていくことがあります。考え方が違うからこそすばらしいアイデアが生まれたりすることがあります。小学生の内から自分の考えを堂々と表現し、違う意見や考え方を受け入れる体験をしていけば、それは必ずその子の力になります。クラス替えのできない本校の特権かもしれません。

本校の学校教育目標は、子ども達や職員や各家庭が「支え合い・学び合う」ことを意識していただくことも、校長としては考えております。子ども達はもちろんですが、西合志第一小学校に関係する誰もが「支え合い・学び合う」集団となり、子ども達を健全に育てなければと考えます。どうぞよろしく願いいたします。

ほんわか1

朝、南門で子ども達を迎えているときのことで。1年生のある女の子が、「はい、校長先生」と言いながら、きれいなお花を手渡してくれました。オシロイバナやメマツヨイグサでした。心がぽかぽかになりました。



ほんわか2

4年生の登校班長さんが、やさしく1年生と手をつないで登校してくれています。保護者の方も南門まで付き添ってくださっています。支え合い・学び合いです。

